

はじめに

■ 取扱説明書について

- 本機をすぐにお使いいただけるよう基本的なガイドを説明しています。
- 本書のイラストや機能はバージョンによって実物と異なる場合がございます。

■ 保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。

■ 知的財産権について

- “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。
- Qualcomm aptXはQualcomm Technologies International, Ltd.の製品です。Qualcommは、Qualcomm Incorporatedの米国ならびに他の国における登録商標であり、許可のもとに使用しています。aptXは、Qualcomm Technologies International, Ltd.の米国ならびに他の国における登録商標であり、許可のもとに使用しています。



Qualcomm® aptX™

- その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、著作権法上、権利者に無断で個人的に又は家庭内その他これに準ずる範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに.....	3
目次	3
安全上のご注意.....	4
演奏の準備	8
1. 各部の機能と名称.....	8
2. 演奏の準備.....	10
■ 電源を入れる.....	10
付録	12
1. 困ったときは?	12
2. 他の機器との接続.....	14
■ Bluetoothに関するご注意.....	15
3. 仕様.....	16

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、お子様の安全のために、保護者の方の管理の下、お子様に注意事項を守っていただきますようお願いいたします。

■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないでください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

- ・電圧の異なる電源を使用しないでください。
- ・発火の恐れがあります。
- ・付属のACアダプタを使用してください。



本機専用

付属のACアダプタは本機でのみ使用する

- ・付属のACアダプタ以外を本機で使用しないでください。
- ・付属のACアダプタおよびその電源コード部を他の機器で使用しないでください。



電源コードを熱器具に近付れたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



濡れた手で触らない

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



水がかかる場所で使用したり、水に濡らす(つける,かける,こぼす)などしない

漏電によって、感電や発火の原因になります。



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない



異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

- ・怪我および破損の恐れがあります。
- ・運搬の際は、必ず2人以上で運んでください。



使用しない

イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには2人以上で座らない
- イスの高さ調節は、イスから降りて行う(調節機能付きの場合)
- イス組立時、ネジをしっかり締める
- ・イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
- ・不安定な場所に置かないでください。
- ・長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



長時間使用禁止

ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

故障、感電、ショートの原因になります。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
 - 戸外など極端に温度の低い場所
 - 極端に湿度の高い場所
 - 砂やホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
- 故障の原因になります。

⚠ 注意



プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



ゆっくりしめる

鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切つて行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



もたれない

本機の鍵盤にもたれない

本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。



他電気機器から離す

テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

- ・本機が雑音を発する恐れがあります。
- ・本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。



からまないようにする

電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



電源プラグはすぐに抜くことができる状態にしておく

本機は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグはすぐに抜くことができる状態にしておいてください。



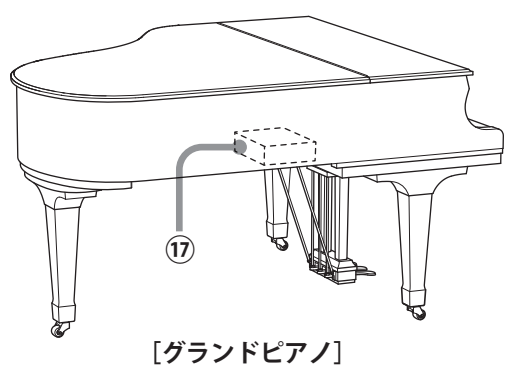
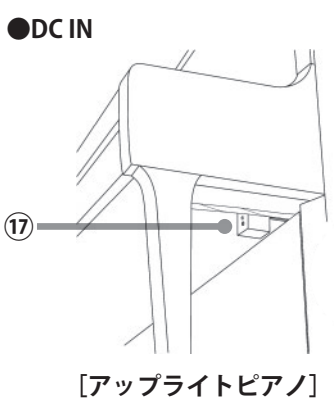
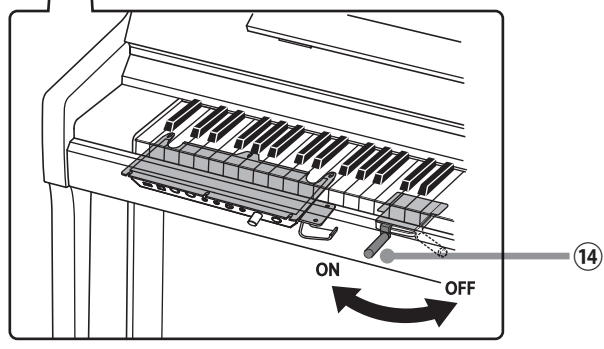
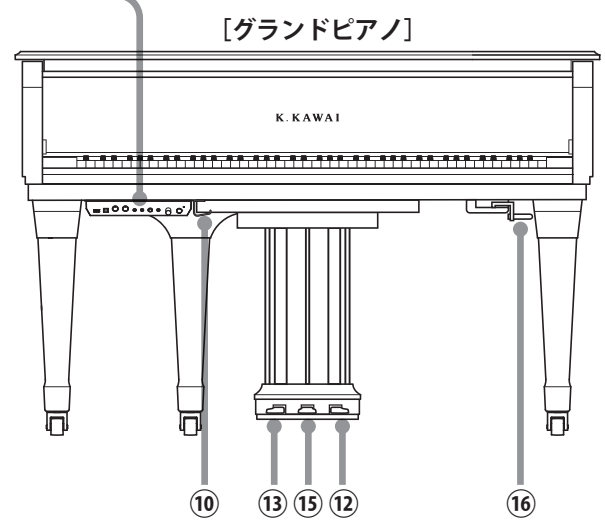
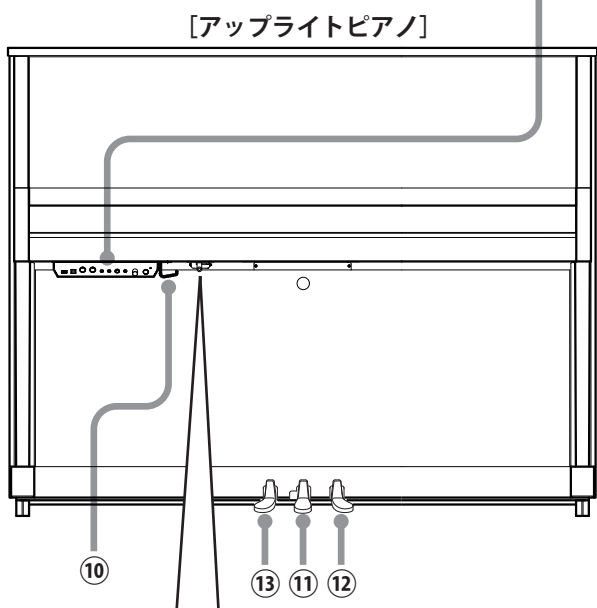
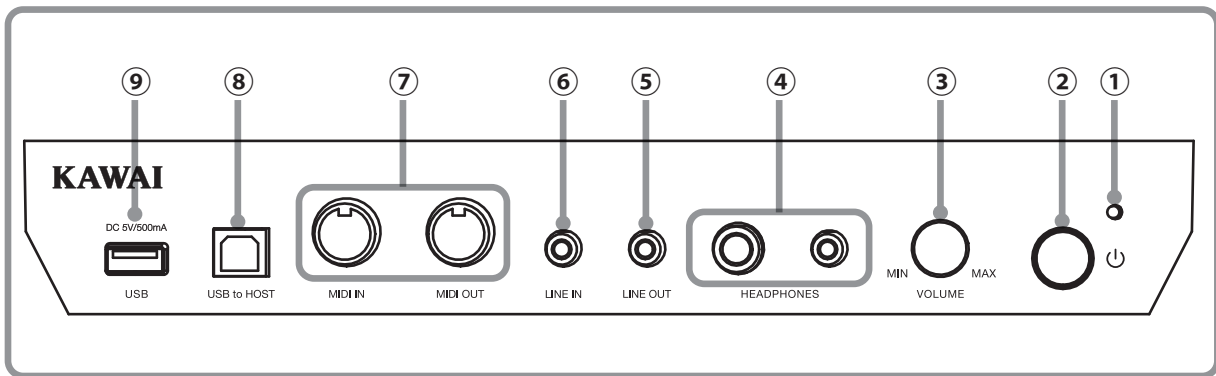
ベンジン/シンナー禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

- ・色落ちや、変形の原因になります。
- ・清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いてください。

演奏の準備

1. 各部の機能と名称



演奏の準備

① 電源表示ランプ

電源がオンのとき点灯します。

② [POWER] スイッチ

電源をオン/オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

③ [VOLUME] つまみ

ヘッドホンから出力される音量を調整します。

④ [HEADPHONES] 端子

ステレオのヘッドホンを接続する端子です。ミニステレオプラグのヘッドホンとステレオ標準プラグのヘッドホンを同時に接続することができます。

⑤ [LINE OUT] 端子

本機の音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

⑥ [LINE IN] 端子

他の電子楽器やオーディオ機器などの音を聴きたいとき、その出力端子とこの端子を接続します。

⑦ [MIDI IN/OUT] 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

⑧ [USB TO HOST] 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

⑨ [USB FOR UPDATE] 端子

本機のアップデートに使用するUSBメモリを接続する端子です。

⑩ ヘッドホンフック

ヘッドホンを使用しないとき、ここへ掛けてください。

⑪ 消音切替ペダル

アコースティックピアノの音を消すペダルです。消音演奏のときには、このペダルを踏んで左にスライドし、固定してください。なお、演奏途中にこのペダルを操作しないでください。

⑫ ダンパーペダル

このペダルを踏んで演奏すると、鍵盤から手を離れた後の音の減衰の仕方が変わります。最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。

⑬ ソフトペダル

音量がわずかに下がると同時に、音の響きが柔らかくなります。

エフェクトがロータリーに設定されているときは、このペダルを踏むたびに、スピード(Slow/Fast)が切り替わります。曲想に応じて切り替えてご使用ください。

このペダルを踏みながら電源をオンにするとソステヌートペダルに切り替わります。

⑭ マフラーレバー

このレバーを手前に引くと、弦とハンマーの間に薄いフェルトまたはクロスが下がり、この上からハンマーが打弦することになるため、音量が弱まります。

⑮ ソステヌートペダル

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤のみに余韻を与えます。

⑯ 消音切替レバー

アコースティックピアノの音を消すレバーです。消音演奏のときには、手前に引いてください。なお、演奏途中にこのレバーを操作しないでください。

⑰ DC IN

ACアダプタを接続します。

ピアノによって、本体裏下部にある場合と、高音側の鍵盤下部にある場合があります。

2. 演奏の準備

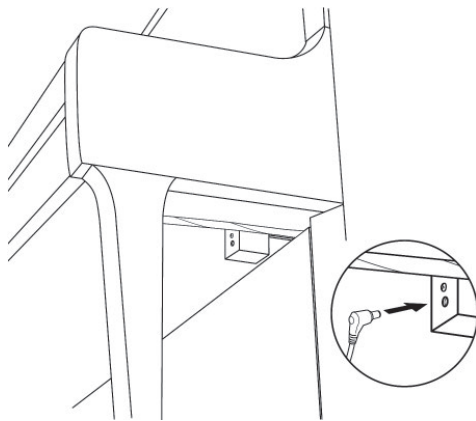
■ 電源を入れる

1. ACアダプタを本体に接続する

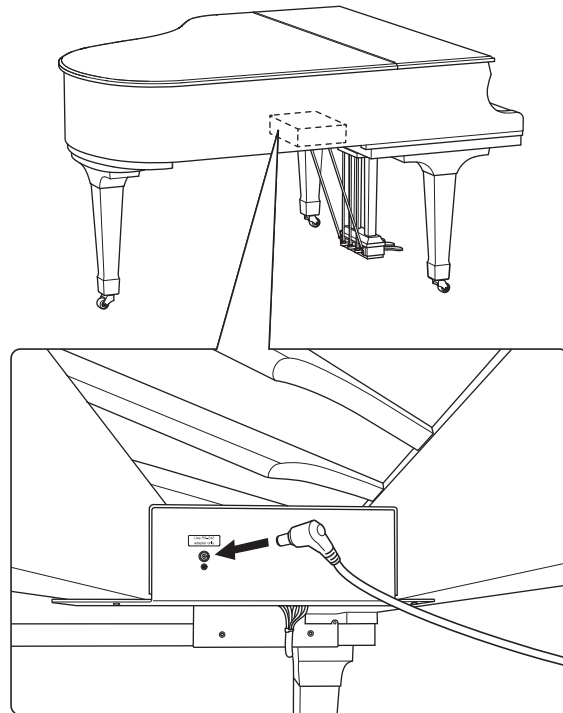
ACアダプタの本体接続側のプラグをDC INに差し込みます。

DC INの位置は、ピアノによって、本体裏下部にある場合と、高音側の鍵盤下部にある場合があります。

[アップライトピアノ]



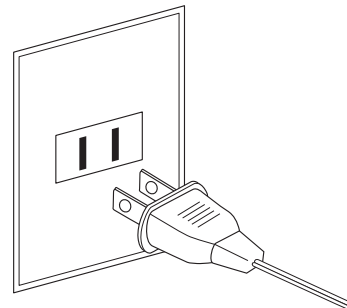
[グランドピアノ]



2. 電源コードをコンセントに接続する

ACアダプタの電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

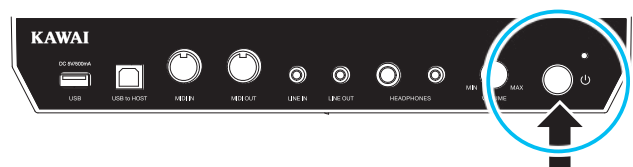
※ 電源プラグとコンセントの間にほこりがたまらないように、定期的に掃除をしてください。



3. 電源を入れる

[POWER]スイッチを押して電源をオンにします。電源表示ランプが点灯します。

電源を切るときは、もう一度[POWER]スイッチを2秒ほど長押しします。スイッチから手を離すと電源表示ランプが消灯します。



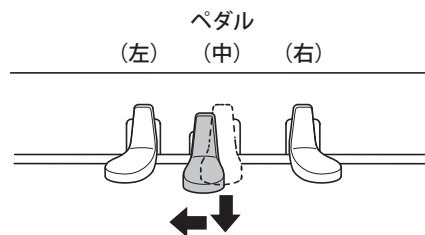
4. 消音へ切り替える

<アップライトピアノの場合>

中央の消音切替ペダルを踏んで左にスライドして固定し、アコースティックピアノの音を消します。

※ 演奏中に、このペダルを操作しないでください。

※ ペダルは左で止まるまでしっかりスライドしてください。スライドが不十分だと、ソフトペダル(左ペダル)を踏んだとき電子音が出なくなる場合があります。

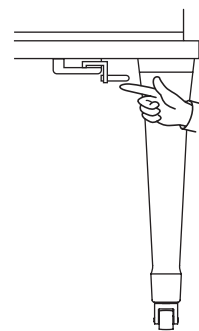


中ペダルを踏み込み、左へスライドさせます。

<グランドピアノの場合>

消音切替レバーを手前に引き、アコースティックピアノの音を消します。

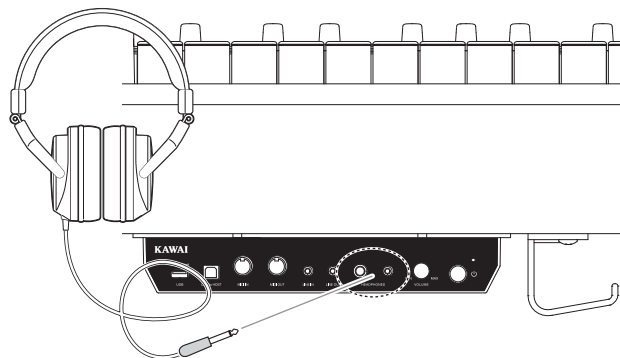
※ 演奏中に、このレバーを操作しないでください。



5. ヘッドホンを接続する

付属のヘッドホンを [HEADPHONES] 端子に差し込みます。

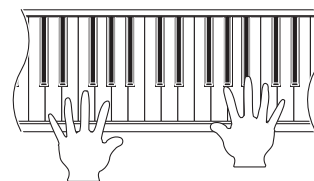
ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンを掛けておくことができます。



6. ヘッドホンで演奏を聴く

鍵盤を弾いてみましょう。

ヘッドホンから電子音のグランドピアノの音が出ます。空いているもう一つの端子に、お手持ちの別のヘッドホンを接続すると、2人で電子音の演奏を聴くことができます。

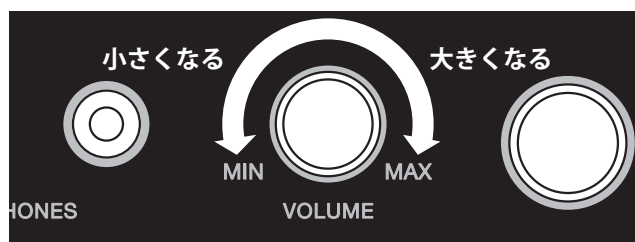


● 音量を調整する

[VOLUME] つまみで音量を調整します。

時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。

※ 音量を大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合は音量を小さくして使用してください。



1. 困ったときは？

電源が入らない

電源コードが正しく接続されていますか？

コンセント側と本体側の両方をご確認ください。
接続されていても、抜けかかっていることがあります。
一度抜いて接続しなおしてみてください。(P. 10参照)

電子音が出ない

音量が0になっていませんか？(P. 11参照)

電子音のピアノの音がおかしい、異音やノイズがする

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもあります。これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。

ペダルを踏むとノイズがする

鍵盤弾いても弾かなくても、ダンパーペダルを踏むとダンパーが開放されたときに生ずる弦の共鳴音(ノイズ)がしますが、これは異常ではありません。

特定の演奏、特定の音域で音が歪む

ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。

電子音の特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい

内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。

鍵盤を弾くとカタカタ音がする

鍵盤を弾くとカタカタと打鍵音がしますが、異常ではありません。

電子音のときペダルが効かない

高音域で、ダンパーが効かない

ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤(下図)にはダンパーという止音装置が付いておりません。本機ではその機構を再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。



ダンパーが付いていない

USBメモリー

USBメモリーが認識されない、または動作しない

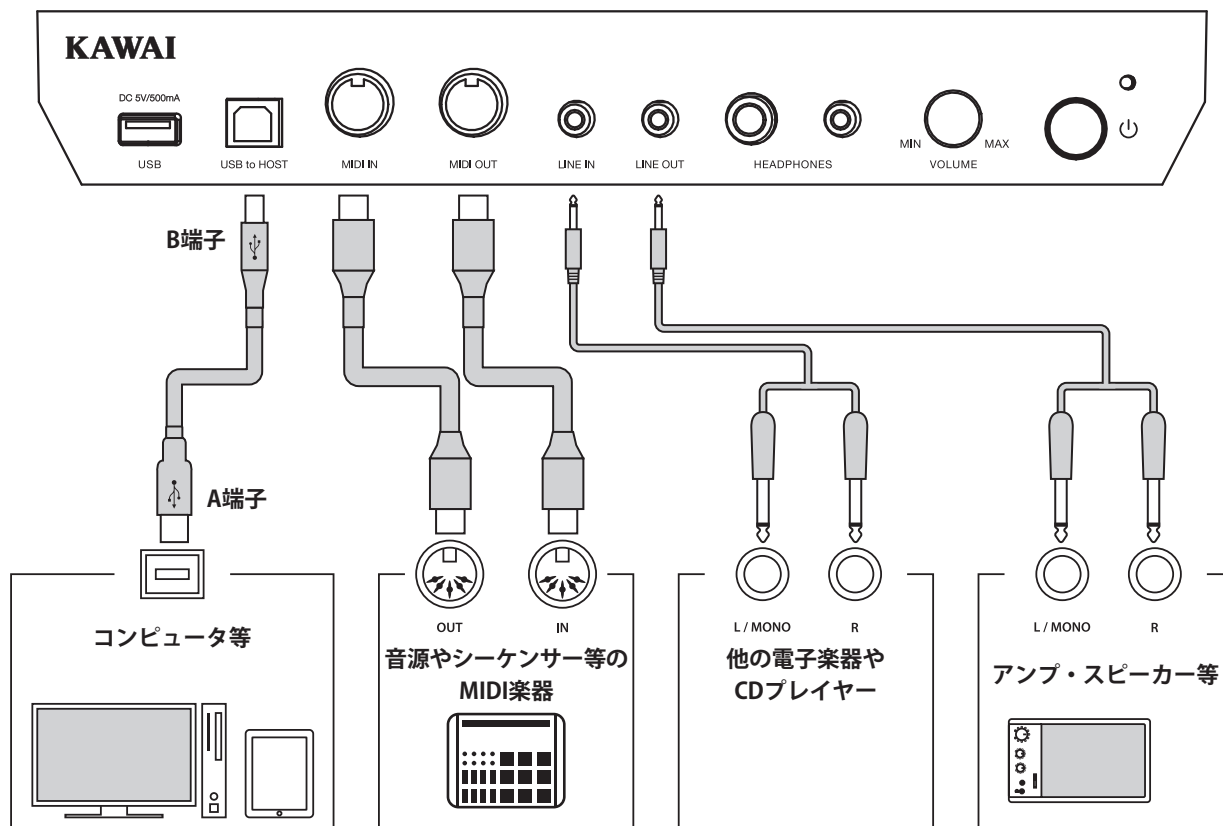
USBメモリーを一度抜いて、挿し直してください。再接続しても問題が解消されない場合は別のUSBメモリーをお試しください。

USBメモリーを挿したとき、しばらく時間がかかる

8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

Bluetooth	
接続できない	本機のBluetooth機能がオフになっていませんか？スマートデバイスのBluetooth設定ではなく、アプリケーション内の設定から接続してください。
接続したスマートデバイスが繋がらない	接続してもすぐに切れてしまう場合は、スマートデバイス側のBluetoothスイッチを一度オフにして再度オンにすると、接続される場合があります。
内蔵曲の演奏データが送信されない	内蔵曲の演奏データはBluetooth MIDIから出力されません。
ペアリングできない	本製品は常にBluetooth接続がスタンバイの状態になっているため、一度接続したお手持ちの機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続される場合があります。 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。

2. 他の機器との接続



- ・他の機器と接続する時は本機の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行くとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働き本機の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直してください。
- ・本機のラインイン (LINE IN) とラインアウト (LINE OUT) を直接ケーブルで接続しないでください。発振音が発生し、故障の原因になります。

1. LINE OUT (ライン出力端子) ＜ミニステレオジャック＞

本機の音を他の外部機器 (アンプ、ステレオ) などで聴いたり、外部機器に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは本体のボリューム (P. 11) で調節できます。

3. MIDI (ミディ)

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

2. LINE IN (ライン入力端子) ＜ミニステレオジャック＞

他の電子楽器やCDプレイヤーなどの音を聴きたいときは、その出力端子とこの端子を接続します。音量調節は接続した機器で調節するか、「ラインインレベル」を利用して調整してください。

また、ラインイン端子には過大入力が入らないようにご注意ください。常識を超える過大入力に対しては故障の原因になりますのでご注意ください。

4. USB端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、本機側はB端子でそれぞれ接続します。

■ Bluetoothに関するご注意

Bluetooth機能が使用する2.4GHz帯は、さまざま機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

本製品は常にBluetooth接続が待機状態になっております。複数のBluetooth対応機器がある場合は、接続したい機器以外のペアリングに注意してください。

3.仕様

ハンマーセンサー	IHSS (Integrated Hammer Sensing System) 非接触型光センサーシステム
同時発音数	最大256音 (音色により異なる)
音色	91音色 (SK-EXレンダリング音源：1音色 / 10レンダリングキャラクター)
効果	SK-EXレンダリング音源選択時 ：アンビエンス (10種) その他音源選択時 ：リバーブ (6種), コーラス3種, ディレイ3種, トレモロ3種, オートパン2種, フェイザー2種, ロータリー6種, コンビネーション5種
メトロノーム	1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8拍子, リズム100種類
ラインイン録音	対応
内蔵曲	全493曲 (楽譜集曲357曲, デモ曲39曲, ミュージック97曲)
コンサートチューナー	タッチカーブ, ミニマムタッチ, ボイシング, レゾナンスデプス, ダンパーレゾナンス, ダンパーノイズ, スtringレゾナンス, 開放弦レゾナンス, キャビネットレゾナンス, キーオフエフェクト, キーアクションノイズ, ハンマーノイズ, ハンマーディレイ, 大屋根の開閉, ディケイタイム, リリースタイム, ストレッチチューニング, 音律, 音律の主音, 88鍵ボリューム, ハーフペダルアジャスト, ソフトペダルデプス * 設定できる項目は選択する音源によって異なります。
キートランスポーズ	-12~12半音
ソングトランスポーズ	-12~12半音
オートパワーオフ	オフ, 15分, 60分, 120分
ヘッドホン機能	スペシャルヘッドホンサウンド, ヘッドホンタイプ, ヘッドホンボリューム
その他機能	チューニング, ダンパーホールド, トーンコントロール, ウォールEQ, 小音量バランス, スピーカーボリューム, ラインレベル, MIDI設定機能, Bluetooth設定機能, 表示言語, デュアル/スプリット/連弾モード (SK-EXレンダリング音源選択時は除く)
ペダル	ダンパー (ハーフペダル対応), ソフト, ソステヌート
操作・レコーダー機能	PianoRemoteアプリ
外部端子	ヘッドホン (2), MIDI (IN, OUT), LINE OUT (L/MONO, R), LINE IN - LINE INボリューム付, USB to HOST, USB to DEVICE
無線接続	Bluetooth MIDI (バージョン：4.1) Bluetooth Audio (バージョン：3.0 対応プロファイル：A2DP 対応コーデック：SBC, AAC, aptX)
定格電圧	AC100V, 50/60Hz
消費電力	20W
同梱品	ヘッドホン (SH-09) / ACアダプタ (PS-242) / 取扱説明書 (本書) / クラシカルピアノコレクション (楽譜集)

